

ふる里からの  
『ふくろうだより』  
10月号 (神無月)

平成28年10月3日発行

発行者： 社会福祉法人 長崎県  
デイサービスセンター ふる里  
長崎県 大村市 鬼橋町 1416番地  
TEL (0957) 27-4500  
FAX (0957) 27-4501  
ホームページ検索： 長崎県デイサービスセンター

『あいさつ交わす、穏やかな朝は、幸せの道!』

先日町内のご老人が、“あいさつ”についての話をされました。日本語は、「おはよう」で“朝からお早いですね”の意味ですね。アメリカは、「グッド-モーニング(Good-Morning)」で、“あなたに良い朝が訪れますように”の意味です。ご老人は、「両国とも爽やかで明るい平和な感じですが、自分が子供の頃、三軒隣に韓国人がいて、その韓国の方は、「カムサイ・チアール・ティムススムニカッ(韓国の文字を忘れました)」が朝のあいさつでしたと。“昨夜は十分に眠れましたか?”の意味だそうです。韓国のあいさつは、「治安的に不安な状況が多く、眠っている間無事で、その上心身ともに平安な朝を迎えられたことへの安堵感を表しているのではないか。」とおっしゃっていました。あいさつは、良好な人間関係を形成する上でとても大切な行動様式です。

ちょっとここで皆さんもご存じのお方を紹介します。“あいさつ”ひとつで芸能界のトップになられたお方です。その人とは、萩本欽一(はぎもと きんいち)さん。鹿児島出身の坂上二郎(さかがみ じろう)さんと「コント55号」を結成され、“欽ちゃん”で一躍有名になりました。萩本欽一さんは、1941年(昭和16年)5月7日東京都生まれ。血液型はA型。中学卒業後、浅草演芸劇場のダンス(故・大宮 敏光)の門を叩きましたが、ダンスから「役者は当節、高校ぐらい出なくっちゃ。」と言われ、高校へ通うことになりました。高校卒業後、浅草東洋劇場の軽演劇の一座に加わり、昭和36年同志トリオを組んだり、自ら座長となり浅草新喜劇を作られました。昭和41年 旧友、坂上二郎と「コント55号」を結成。テレビ司会や喜劇役者として一世を風靡したが、2014年3月の公演を最後に大劇場での公演から身を引かれました。しかし、昨年2015年4月に駒澤大学仏教学部に入学され現在に至っています。テレビに出たら、視聴率100%男といわれる程、企画演出の才能が優れたお方でした。ゴールデンアロー賞、ブルーリボン特別大賞、テレビ大賞など数々の賞も取っていらっしやいます。



萩本欽一さん



坂上二郎さん

さて、その萩本欽一さん下積みの浅草東洋劇場時代、演出家の指摘で、「芸人としての才能がないから辞めさせよう。」と、浅草東洋劇場から追い出されそうになったのです。しかし、一座の方々から、「彼のあいさつは快い。辞めさせないで!」と萩本欽一さんを庇護する声が上がリ、無事萩本欽一さんの首は繋がった。という実話があるそうです。あいさつひとつで信用を勝ち取り、将来のスーパースターへの道が出来上がっていったのです。

From センター長 森 隆敏

9月行事



『敬老感謝週間』

ふる里に関わる皆様へ日頃の感謝をこめて、9月の行事『敬老感謝週間』を20日(火)・21日(水)・22日(木)の三日間、とても盛大に行いました。

毎年恒例の職員手作りのプレゼント。今年は、マグカップにしました。そこには職員からのメッセージ“あなたの笑顔でわたしも笑顔”の言葉を添えました。日頃から大切に愛用して頂けると嬉しく思います。

さて、今年の行事は、外部からお客様をお呼びして利用者の方々に楽しんで頂くよう計画しました。

初日は、『昊天宮子育てサロン様』による劇や歌の出し物。小さな子供たちが「大きなカブ」の劇を披露し、その可愛いしぐさや台詞まわしにとっても癒されておられました。



敬老感謝の手作りプレゼント



2日日は、『長岡洋道(芝バンド)様』による三味線とギターの演奏と歌の出し物。軽妙なトークで場を盛り上げて頂き、利用者さんの笑顔がたくさん見られるとともに、お馴染みの曲では利用者さんも職員も一緒に歌ったり、踊ったりととても活動的で、楽しい雰囲気の一時を過ごすことができました。



3日日は、『大村民踊協会(吉村先生)御一行様』による踊りを披露していただきました。妖艶な踊りや力強い踊りなど利用者さんも目を食い入るように集中して観覧されていました。また、『花笠音頭』では、全員で傘を持ち、楽しく踊ることができました。さらに、師匠の吉村先生と以前、一緒に踊られていた利用者の方がおられ、同窓会のような雰囲気での再会場面もあり、感動的な一幕もあり、笑顔が溢れていました。



この行事のお楽しみはまだ続きます。敬老感謝のお食事とても豪華で、ご利用者の皆様に『おもてなしメニュー♡』。

一日目は握り寿司。二日目はアナゴ寿司。三日目は大村押し寿司と寿司尽くし。それに加え、お刺身や茶わん蒸しなどの他、豪華なフルーツ盛りもあり、食べきること大変なほど。「もう食べきらん!」と言われるほどの満腹感と「こがん美味しかもんは久しぶり食べたばい!」と喜ばれる美味しい味に利用者の皆様はとても満足されていました。



～行事おもてなしメニュー～



～あなたの笑顔でわたしも笑顔～



行事担当 栗山 晃子・小田 麗子

居宅介護サービスセンター ふる里

【居宅介護サービスセンターふる里】とは…

介護全般の相談役となり、介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援など行い、ケアマネージャーが皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料や、ご利用に係る料金は無料です。24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。



十月の行事予定

◆ふる里10月行事 『ミニミニ運動会』  
25日(火)・26日(水)・27日(木)

◆生花教室 ～山崎弘子先生～ 6日(木)・17日(月)

◆書道教室 ～古瀬恭孝先生～ 13日(木)・24日(月)

◆おはなしの部屋～鐘ヶ江先生他～ 21日(金) ※1  
※1 ふる里おはなしの部屋の時は、午前中入浴となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。

◆押し花教室 ～中村寿美子先生～ 18日(火)

◆やわらぎ(針灸マッサージ師)～平島泰士先生～ … 毎週火・木・金曜日

◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後  
5・12・19日実施予定

※2 おしゃれサロンは、先生の都合によりしばらくお休みいたします。



今月の作品



10月に入り、本格的な秋となりました。秋といえば、日本全国で秋(豊作)祭りが開かれます。長崎の秋祭りといえば有名な「長崎くんち」。今年も10/7(金)～9(日)までの期間で実施されます。収穫を感謝して奉納される祭、「おくんち」。神社から御旅所まで神輿による御神幸が行われ、そこには山車、踊りなどが加わり、街全体で盛り上がる時期でもあります。アンコールを意味する『もてっこーい』の掛け声は長崎独特で「秋」を感じるにふさわしい言葉でもあります。ふる里の生活においても皆さんの笑顔を毎日『もってこーい』したいものです。

編集後記 三岳 健吾